

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【公開番号】特開2011-130514(P2011-130514A)

【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2011-76427(P2011-76427)

【国際特許分類】

H 04 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/28 203

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月9日(2012.10.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポーリング方式、変化発報方式のうち一のデータ伝送方式を選択する選択手段と、前記選択手段の選択結果を伝送方式要求信号として送信する送信手段とを具備する端末装置と、

前記伝送方式要求信号に応じ前記端末装置間との伝送方式をポーリング方式、変化発報方式のうち一の方式に切替える伝送方式切替手段を具備するセンタ装置と、前記センタ装置は、

前記端末装置から一定時間内に前記伝送方式要求信号を受信しない場合は前記端末装置に対し、ポーリング方式とする伝送方式決定信号を送信する送信手段をさらに具備するデータ伝送システム。

【請求項2】

伝送するデータを記憶する伝送データ記憶部と、

前記伝送データ記憶部に記憶した伝送データ量を計算する計算手段と、

前記計算手段により計算された伝送データ量が第一のしきい値以上である場合は、データ伝送方式をポーリング方式とし、第一のしきい値未満である場合は変化発報方式とする、

伝送方式を選択する選択手段と、

前記選択手段の選択結果を伝送方式要求信号として送信する送信手段とを具備する端末装置と、

前記伝送方式要求信号に応じ前記端末装置間との伝送方式をポーリング方式、変化発報方式のうち一の方式に切替える伝送方式切替手段を具備するセンタ装置と、

前記センタ装置は、

前記端末装置から一定時間内に前記伝送方式要求信号を受信しない場合は前記端末装置に対し、ポーリング方式とする伝送方式決定信号を送信する送信手段をさらに具備するデータ伝送システム。

【請求項3】

伝送するデータを記憶する伝送データ記憶部と、

前記伝送データ記憶部に記憶した伝送データ量を計算する計算手段と、

前記計算手段により計算された伝送データ量が第一のしきい値以上である場合はデータ伝送方式をポーリング方式とし、第一のしきい値未満である場合は変化発報方式とする、伝送方式を選択する選択手段と、

前記選択手段の選択結果を伝送方式要求信号として送信する送信手段と、

伝送方式決定信号を受信する受信手段と、

伝送方式を、前記受信手段により受信した伝送方式決定信号に対応した、ポーリング方式、変化発報方式のうち一の方式に切替える伝送方式切替手段とを具備する複数の端末装置と、

前記端末装置の前記送信手段から送信された伝送方式要求信号の変化発報方式要求数が第二のしきい値以上である場合に、システムの伝送方式を変化発報方式とし、未満である場合に、ポーリング方式とする判断手段と、

前記判断手段の判断結果を前記伝送方式決定信号として各端末に送信する送信手段と、前記判断手段の判断結果に応じ各端末間との伝送方式をポーリング方式、変化発報方式のうち一の方式に切替える伝送方式切替手段とを具備するセンタ装置と、

前記センタ装置は、

前記端末装置から一定時間内に前記伝送方式要求信号を受信しない場合は前記端末装置に対し、ポーリング方式とする伝送方式決定信号を送信する送信手段をさらに具備するデータ伝送システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明によるデータ伝送システムは、
ポーリング方式、変化発報方式のうち一のデータ伝送方式を選択する選択手段と、
前記選択手段の選択結果を伝送方式要求信号として送信する送信手段とを具備する端末装置と、

前記伝送方式要求信号に応じ前記端末装置間との伝送方式をポーリング方式、変化発報方式のうち一の方式に切替える伝送方式切替手段を具備するセンタ装置と、
前記センタ装置は、

前記端末装置から一定時間内に前記伝送方式要求信号を受信しない場合は前記端末装置に対し、ポーリング方式とする伝送方式決定信号を送信する送信手段をさらに具備する。